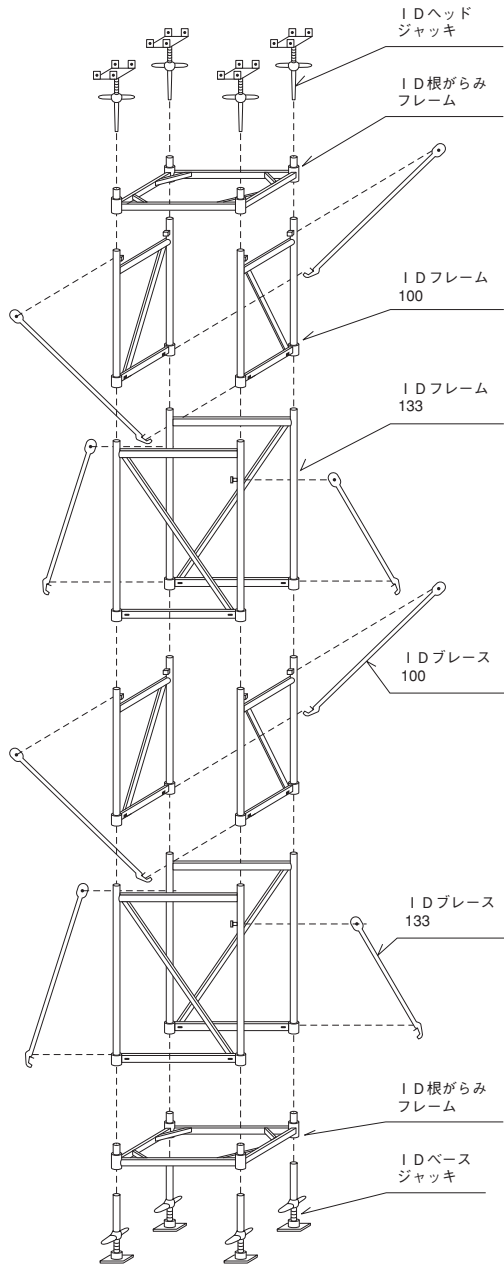
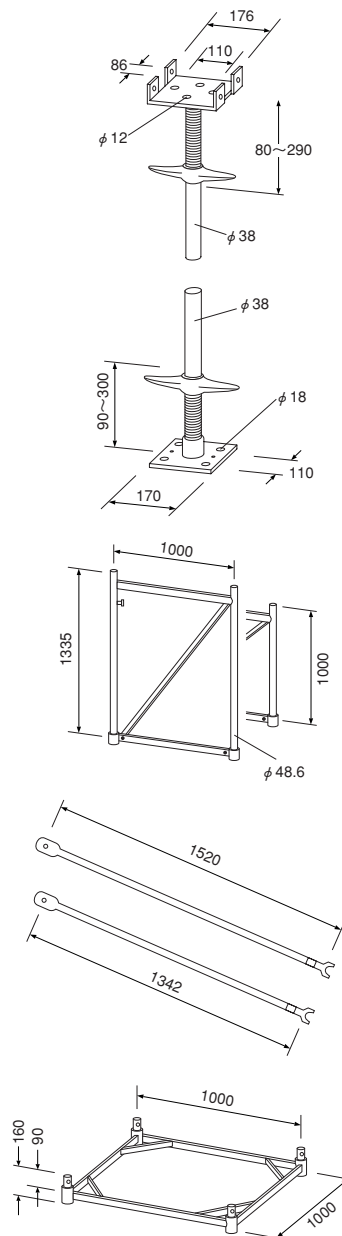


ID-15

主要部材及び補助部材



主要部材



種類

6つの主要部材を組み合わせる事によりフレームタワーは必要な高さにより調整出来ます。

IDヘッドジャッキ

ジャッキの許容傾斜度:6%

高さ調整範囲:8.0cm~29.0cm

IDベースジャッキ

ジャッキの許容傾斜度:6%

高さ調整範囲:9.0cm~30.0cm

IDフレーム133

IDフレーム100

フレームは内蔵された抜け止め防止金具により連結されます。

高さ:133.5cm又は100.0cm

IDブレース133

IDブレース100

上部はプレピンに結合され、下部はブレースのフックがフレームの横架材を掴む。

各フレームには必ず使用します。

ID根がらみフレーム10

水平繋ぎ及び水平筋交いとして、上部及び下部に必ず使われます。

高さ:上部に使用:16cm

:下部に使用:9cm

積載荷重

■ フレームタワーの高さと積載荷重表

フレームタワーの高さ H (m)	1タワー当たりの 積載荷重(許容荷重) (KN)	脚管1本当たりの 積載荷重(許容荷重) (KN)
0 < H ≤ 15	235.36 (24t)	58.84 (6t)
15 < H ≤ 25	196.12 (20t)	49.03 (5t)
25 < H ≤ 35	156.92 (16t)	39.23 (4t)

- * 偏荷重・片荷重・設計荷重以上の荷重がかからない様注意する。
- * 必要に応じ単管・クランプで繋ぎで取る。
- * 組み立て時に於いてフレームタワーの高さが5m以上の場合5m以内毎に、必ずフレームタワー同士を繋ぐ。